

## 平成 30 年度「救急の日」及び「救急医療週間」

- 「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和 57 年度に定められ、以来、9 月 9 日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。
- 期間中、全国各地において、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会、その他関係機関の協力により、各種行事が開催されます。
- 消防庁では、「救急の日 2018」及び「救急功労者表彰式」を開催します。

### 【資料】

平成30年度「救急の日」及び「救急医療週間」

#### [参考]

- ・ 「救急の日」 …… 9月9日（日）
- ・ 「救急医療週間」 …… 9月9日（日）～9月15日（土）
- ・ 「救急の日 2018」 …… 9月9日（日）11時00分～17時00分  
アクアシティお台場 3階「アクアアリーナ」
- ・ 「救急功労者表彰」 …… 9月10日（月）13時30分～13時50分  
KKRホテル東京 11階「孔雀の間」

#### ○ 資料の入手方法

資料については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp/>）及び消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）の「報道資料」欄に、本日（29日（水））14時を目処に掲載するほか、総務省消防庁救急企画室（総務省3階）において閲覧に供するとともに配布します。

#### 【連絡先】消防庁救急企画室

担当：小谷専門官、小川係長、新井主査、志田事務官

TEL：03-5253-7529（直通） FAX：03-5253-7532

# 平成 30 年度「救急の日」及び「救急医療週間」

## 1 趣旨

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和 57 年度に定められ、以来、9 月 9 日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。

期間中、全国各地において、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会、その他関係機関の協力により、各種行事が開催されます。

## 2 平成 30 年度の日程

「救 急 の 日」 9 月 9 日（日）

「救急医療週間」 9 月 9 日（日）～9 月 15 日（土）

## 3 消防庁の実施行事等

### (1) 「救急の日 2018」の開催

救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に開催します。

① 日 時 9 月 9 日（日） 11 時 00 分～17 時 00 分

② 場 所 アクアシティお台場 3 階「アクアアリーナ」  
東京都港区台場 1 丁目 7 番 1 号

### ③ 行事内容

◇ キャラクター着ぐるみによるステージオープニング（MCによる開会宣言）  
（ハートラちゃん、消太、ぐんまちゃん、松戸さん）

◇ 日本赤十字社

「あなたの勇気が命を救う！ハートラちゃんと一緒に体験しよう AED」

◇ 一般社団法人 日本 AED 財団 減らせ突然死プロジェクト実行委員会  
「子供たちへのカンタン救命講座」

◇ 全国救急救命士教育施設協議会

「私たちが救急救命士となり市民を守る！ー救急救命処置シミュレーションー」

◇ その他

- ・ パネル及びポスター展示
- ・ 救急関係機器及び機材の展示 等

### ④ 主 催

消防庁、厚生労働省、一般財団法人日本救急医療財団、一般社団法人日本救急医学会

## (2) 救急功労者表彰式

平素から救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するもので、総務大臣表彰は、個人表彰 13 名及び団体表彰 1 団体で、消防庁長官表彰は、個人表彰 18 名となっています。

- ① 日 時 9月10日(月) 13時30分～13時50分
- ② 場 所 KKRホテル東京 11階「孔雀の間」  
東京都千代田区大手町1丁目4番1号
- ③ 受賞者名簿 別紙のとおり

## 4 その他の取り組み

### (1) 「救急の日」ポスター作成・配付(制作：一般財団法人救急振興財団)

今年度は、ガチャピンとムックを起用したポスターを作成し、標語については、「あなたのチャレンジが命をつなぐ」としました。

このポスターでは、緊急事態だとわかったら、ためらわずに119通報してもらう。AEDを持ってきてもらう。勇気を出して蘇生活動にチャレンジする。救急救命において、その場に居合わせたひとにしかできない、大事な役割があることを伝えています。

ポスターは一般財団法人救急振興財団を通じて、全国の消防本部や消防関係団体に配付しています。



「救急の日」ポスター

### (2) 消防機関における実施工事等

全国の消防機関においても、期間中には様々なイベントが開催されます。

## 平成30年度救急功労者表彰受賞者名簿

## ●総務大臣表彰対象者数 14個人・団体

## ○個人表彰13名

(五十音順・敬称略)

おおくぼ けいじ 大久保 啓二	57歳	社会医療法人 北斗会 大洲中央病院 理事長 院長	愛媛県
おざわ ゆきひろ 小澤 幸弘	64歳	三浦市立病院 総病院長	神奈川県
かごしま みつる 籠島 充	58歳	新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院 病院長	新潟県
かん けいいち 管 桂一	64歳	一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 副院長	福島県
しまづ たけし 嶋津 岳士	62歳	大阪大学大学院医学系研究科 教授 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター長	大阪府
すぎの たつや 杉野 達也	65歳	兵庫県立西宮病院副院長(診療支援担当) 兼 救命救急センター救急科部長	兵庫県
すだ しゅう 須田 志優	53歳	岩手県立磐井病院 第1麻酔科長 兼 中央手術科長	岩手県
すみた しんぞう 住田 臣造	64歳	旭川赤十字病院 副院長	北海道
せきはら まさお 関原 正夫	58歳	利根保健生活協同組合 利根中央病院 副院長	群馬県
たなべ りゅういち 田辺 隆一	66歳	黒部市民病院 医師	富山県
はなき よしひろ 花木 芳洋	60歳	名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長 兼 救急部長	愛知県
はまがみ ひろし 濱上 洋	70歳	長浜赤十字病院 名誉院長	滋賀県
はまべ ゆういち 濱邊 祐一	61歳	東京都立墨東病院 救命救急センター部長	東京都

## ○団体表彰1団体

日本赤十字社 さいたま赤十字病院 埼玉県

# 平成30年度救急功労者表彰受賞者名簿

●消防庁長官表彰対象者数 18個人

○個人表彰18名

(五十音順・敬称略)

あらかわ しょうざぶろう 荒川 庄三郎	60歳	前 甲賀広域行政組合消防本部 消防長	滋賀県
きうち まさひと 木内 雅人	60歳	長野市消防局 通信指令課 主査	長野県
きのうち けんいち 木内 謙一	60歳	由利本荘市消防本部 消防次長	秋田県
くつざわ まさひろ 沓澤 正宏	59歳	最上広域市町村圏事務組合消防本部 消防次長 兼 消防署長	山形県
さいとう つとむ 齋藤 務	60歳	鎌倉市消防本部 消防長	神奈川県
ささま としみ 笹間 利美	57歳	花巻市消防本部 総務課長	岩手県
すずき せいいち 鈴木 誠一	58歳	宇都宮市消防局 総務課長	栃木県
たかた とらお 高多 虎男	58歳	金沢市消防局 駅西消防署担当副署長	石川県
たけだ ゆたか 竹田 豊	55歳	出雲市消防本部 平田消防署署長	島根県
ただ やすじ 多田 儒司	56歳	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 警防課救急室長 兼 救急企画係長	鳥取県
とやま しげる 外山 繁	57歳	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 八千代分署長	茨城県
なかむら じゅんじ 中村 淳二	54歳	宇部・山陽小野田消防局 警防課長補佐	山口県
はった よしあき 八田 善明	59歳	可茂消防事務組合消防本部 消防長	岐阜県
ひが よしき 比嘉 義樹	55歳	那覇市消防局 次長	沖縄県
ふくしま しげき 福島 茂樹	58歳	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部 指揮課 参事兼課長兼第1指揮隊長(消防司令長)	群馬県
ほそい みちお 細井 三知男	58歳	戸田市消防本部 警防課長	埼玉県
もりた こうじ 森田 晃司	56歳	神戸市消防局 消防監	兵庫県
やじま つとむ 矢島 務	60歳	帝京平成大学健康メディカル学部 医療科学科 准教授	東京都